



# 地域

# 看護学講座



## ●講座紹介

私たちの講座は、地域に暮らす子どもから大人まで、あらゆる年代層の方々を看護の対象ととらえ、ひとりひとりの健康を支えるために必要なことを講義や演習・実習を通じて考えていきます。看護師の資格を取得するための学習だけでなく、保健師国家試験受験資格取得や養護教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状(保健)取得のための科目を担当しています。

### ★在宅看護学★

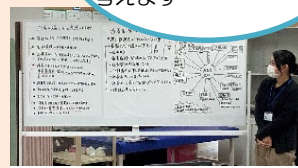
訪問看護演習の様子



訪問看護ステーション・地域包括支援センター  
それぞれの「場」の活動について実習で学びます



実習報告会の様子



地域包括支援センター等での実習も踏まえ、地域で暮らす方を支える仕組みについて考えます

在宅で暮らす方の希望をかなえる看護について考えながら演習や実習を展開します。



### ★学校保健看護学★

小・中学校では保健指導を高等学校では保健学習を実習します



健康診断参観実習の様子



心身の健康管理と健康教育を通して、子どもの人格形成にかかわる養護教諭の資格を得るため、小、中、高等学校で養護・教育実習をします！



ラーニング・サポーターとして滝沢市内の小・中学生に学習支援を行うボランティア活動もあります！

### ★地域保健看護学★

寸劇を取り入れた地域住民への健康教育

地域で暮らす人々が健康に生活できるよう支援する保健師の活動について学びます！



実習後は  
学内で振り返り

グループワークで  
学びを共有しています!!

## ●卒業後の継続支援●

- ★訪問看護ステーションに就職した卒業直後の看護師を、育成プログラムによりサポートしています(岩手県/岩手県看護協会事業)。
- ★仕事の中で困っていることや乗り越えたコツなどを身近な存在である卒業生同士で共有することで、明日からもまたいきいきと仕事ができるよう、「けんだい訪看」、「さっくらネット」、「男性保健師会」、「IPUほけんしつ」を開催しています。

# 地域看護学講座の研究活動

## 雫石町における透析患者のQOL向上及び糖尿病性腎症の重症化予防に向けた 地域の基盤づくりの検討

後藤未央子・蘇武彩加・藤澤由香（岩手県立大学看護学部）、宇佐美誠史（岩手県立大学総合政策学部）

《研究開始の背景と研究概要》 雫石町においては、令和5年8月に町内唯一の透析医療機関の閉鎖を背景に、透析患者の町外への通院支援の検討を開始した。令和6年度に町独自で通院手段の支援策の検討のための調査を行っていたが、具体的な解決には至っていなかった。令和7年度に入り、雫石町からの提案を受け、岩手県立大学の地域協働研究（ステージI 育成型）に取り組むこととし、透析患者・家族を対象としたさらなる実態調査を行うとともに、患者・家族の情報交換会を開催した。これらの実施により、個々の患者・家族の抱える課題の見える化を図り、課題を解消するためのアプローチや、患者の通院手段に係る支援策の検討に加え、雫石町が実施している既存の健康づくり事業の検証等を行いながら、新たな透析患者を増やさないための地域の基盤づくりを推進する取組の必要性を見出した。

そこで

令和8年度は岩手県立大学の地域協働研究（ステージI 本格型）にて実施する

1. 雫石町における透析患者・家族のQOL向上を図る
2. 生活習慣病の悪化から透析への流れに着目した糖尿病性腎症重症化予防に向けた地域の基盤づくりの検討を行う。具体的には…

- ・患者・家族支援を多職種で連携・実施するため「患者個別支援シート」の作成と活用検討
- ・患者及び家族の交流会や学習会開催
- ・透析専門医療機関との情報交換会の開催
- ・透析患者の通院送迎等事業の取組先進地視察
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業の取組先進地視察 等



(上) 雫石町との会議の様子  
(下) 患者・家族交流会の様子



## 保育所・幼稚園・認定こども園、学校での医療的ケア児支援に関する手引書

岩手県立大学 大久保牧子

医学・医療技術の進歩、在宅医療の諸施策の推進等により、救命され在宅で生活する子どもたちが増加しています。また、在宅で高度な医療行為を必要とする医療的ケア児も年々増加しています。さらに、医療的ケア児の保育所・幼稚園・認定こども園（以下「保育所等」）や、通常の小中学校への就園・就学のニーズが高まってきています。このような背景の中、児童福祉法等の一部を改正するための法律（平成28年法律第63号）に伴い、地方公共団体においては、医療的ケア児の支援に関する保健、医療、障害福祉、保育、教育等の連携の一層の推進を図るよう努めることとされました。また、令和3年6月には、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（令和3年法律第81号。以下「支援法」）が成立し、学校の設置者の責務や教育を行う体制の拡充等も規定されました。

そこで、令和2年度に実施した「医療的ケア児・者の支援体制に関する調査」で明らかにした先進的な支援を行っている岩手県内の3市3町にヒアリング調査を実施しました。医療的ケア児の受け入れの準備状況や取組、課題について情報を収集して、医療的ケア児の就園・就学への体制整備や支援の在り方を検討しました。その結果を、「保育所・幼稚園・認定こども園・学校での医療的ケア児支援に関する手引書」にまとめました。今回のヒアリング調査から、担当部署間の情報共有や医療的ケア児等コーディネーターがキーパーソンとしての役割を担うことが、医療的ケア児の支援体制整備の要となっていることを明らかにしました。

本手引書には、すでに受け入れを行った実績のある市や、受け入れるまでの具体的なフローが出来上がっている町をモデルケースとしての事例を掲載されています。これからガイドライン作成を予定している市町村にとって、とても参考になる手引書です。

保育所・幼稚園・認定こども園、  
学校での医療的ケア児支援に関する手引書



# 地域看護学講座の地域貢献活動

## 岩手県内の新卒・新任訪問看護師育成支援

平成30年度より、公益社団法人岩手県看護協会は、岩手県の委託を受け「岩手県版新人等訪問看護師育成プログラム作成事業」を実施しました。本講座教員が検討委員会・WGの委員として参画し、令和2年度に岩手県版「新卒・新任訪問看護師育成プログラム」が完成しました。令和5年度には、各プログラムの見直しを行い、追加の項目および新規技術チェックリスト（小児用）を作成しました。本講座教員が委員長として参画した（岩手県委託 新卒・新任訪問看護師育成支援委員会, 2023）の調査では、回答した77訪問看護事業所のうち30事業所が、看護職員の育成に、各プログラムを活用していました。

### ＜岩手県版新人等訪問看護師育成プログラム作成事業検討委員会＞

- 工藤 朋子 岩手県立大学看護学部 教授
- 野村 陽子 岩手医科大学看護学部 教授
- 岡田 千枝 岩手県看護学校教員協議会、岩手県立二戸高等看護学院 副院長
- 関り ゆう子 岩手県訪問看護ステーション協議会 会長
- 高橋 栄子 岩手県医療局業務支援課 看護指導監
- 及川 史智子 岩手県看護協会 会長

### ＜岩手県版新人等訪問看護師育成プログラム作成事業検討委員会 WG＞

- 高橋 栄子 (株) ゆうゆい 訪問看護ステーションありがとう 代表取締役
  - 鎌田 真紀 内丸病院訪問看護ステーション 所長
  - 三浦 和枝 岩手県看護協会居宅介護支援事業所盛岡 所長
  - 舘 向真紀 岩手医科大学看護学部 助手
  - 佐藤 佳子 岩手県看護教員協議会 花巻高等看護専門学校 副校長
- （平成30年度）  
ガルシア 小織 (株) メディケア・システム 訪問看護ステーションメディケア 代表取締役  
高岩 奈津美 岩手県立大学看護学部 助教

### 岩手県版 新卒訪問看護師 育成プログラム



### 岩手県版 新任訪問看護師 育成プログラム



岩手県 / 公益社団法人岩手県看護協会

### I. 岩手県版新卒訪問看護師育成プログラム

本育成プログラムは、「看護師免許取得後に初めて訪問看護職」を対象とする。

- 1. 目的**  
訪問看護ステーションに就職した新卒看護師が、本育成プログラムにより地域で暮らすあらゆる年代の人々を支える訪問看護職として自立できる。
- 2. 目標**  
(1) 地域で暮らす患者や家族を支える基本的な視点が習得できる。  
(2) 訪問看護に必要な専門的知識・技術などの基本的能力・看護実践力を習得し、単独で訪問ができる。  
(3) 訪問看護職として倫理（自尊・自尊、善行、無危害、正義）、看護者の倫理観に基づき法令を遵守した行動ができる。  
(4) 在宅ケアチームにおいて多職種と協働し役割を担うことができる。  
(5) 訪問看護職として、キャリアアップを目指す自己研鑽ができる。  
(6) 医療安全に則り、患者者に安全な看護技術を提供できる。  
(7) 経営マネジメントの視点を理解し、組織の一員として行動することができる。

### 3. 新卒訪問看護師に必要な学習課題

- (1) 訪問看護制度に基づく訪問看護の概要・特性・役割の理解
- (2) 患者者の心身の状態を把握するシステム的方法の習得
- (3) 訪問看護実践に必要な基本的看護技術の習得
- (4) 訪問看護実践に必要なコミュニケーションスキルの習得
- (5) 訪問看護の場での特性や患者者・家族の個別性に応じた看護の提供
- (6) 訪問看護実践における倫理観の理解

### 5. 新卒訪問看護師育成プログラムの概要とスケジュール（1年目）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問看護職としての基礎	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解	訪問看護の概要・特性・役割の理解
訪問看護実践に必要な基本的看護技術	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得	基本的能力の習得
訪問看護実践に必要なコミュニケーションスキル	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得	コミュニケーションスキルの習得
訪問看護の場での特性や患者者・家族の個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供	個別性に応じた看護の提供
訪問看護実践における倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解	倫理観の理解

## 地域保健看護学での地域貢献

県内で活動する保健師の現任教育や自治体職員を対象とする各種研修会等において、講師を務めさせていただいております。

### （これまでの実績例）

- 岩手県新人保健師研修会
- 岩手県新人保健師指導担当者研修会
- 岩手県各圏域の新任保健師研修会
- 岩手県中堅期保健師研修会
- 岩手県中堅期保健師  
コンサルテーション事業
- 岩手県要保護児童対策地域協議会調整担当者（市町村職員）研修会
- 市町村保健事業担当者研修会
- 高齢者の保健事業と介護予防の  
一体的実施に係る研修会
- 久慈市国保地区協保健活動部会研修会
- 看護協会認定看護管理者教育課程  
ファーストレベル  
など

本講座教員が顧問を務めるピアいびいサークルでは、滝沢市教育委員会主催の「滝沢市ラーニング・サポーター・プロジェクト」に参加しています。活動前には、参加登録をした学生がラーニング・サポーター・プロジェクト証明書交付式に出席し、滝沢市教育委員会教育長より証明書が授与されました。



### 参加した学生の感想

活動を通して、子どもたちの成長・発達や一人ひとりの個性に合わせたコミュニケーションの取り方を学び、身に付けたいと考えております。活動中は、教職員の皆様と子どもたちから謙虚に学ぶ姿勢を大切にしながら、教育における教員の役割と責任を理解するとともに、子どもたちと丁寧に関わり、生活がより充実したものになるようサポートしていきます。この活動で得た知識や技術を生かし、将来は子どもたちに信頼され、その暮らしさを尊重した関わりができる養護教諭になりたいです。

ラーニング・サポーター・プロジェクト証明書交付式 学生代表あいさつ  
この度は、ラーニングサポーターとして子どもたちと関わる機会をいただき、感謝申し上げます。

学校は多様な立場の方々が協力して子どもたちを支える場です。先生方の熱心なご指導から多くを学びながら、教育活動を支える一員としての役割と責任を自覚して行動いたします。

活動にあたっては、子どもたちが発する小さなサインや言葉にできない思いに丁寧に耳を傾け、子どもたち一人ひとりの個性や思いに寄り添いながら関り、実践力を高めてまいります。子どもたちの小さな変化や思いに丁寧に向き合い、安心して学校生活を送れるよう真心を込めて、誠実に取り組んでまいります。

